A:研究発表一覧表						
日時	会場番号	カテゴリー	タイトル	発表者	座長	討論者
11/15(日) 9:30- 11:20	H241	SIと 経営学視点	公益財団法人を核とした市民協働の成熟プロセス —Collective Impact理論と経営学的視点による分析 —	黒田哲夫	依田真美	金田晃一
			経済的価値と社会的価値はいかに統合されうるか :企業統治の構造に着目したスチュワード・オーナーシップ	中嶋愛		
			個人塾におけるタブレット端末の導入による経営や業務への影響に関する研究	綾織秀人		
	H242	SIの普及	災害を生き抜く「余白」のデザインと多様な依存先の形成 ー奥能登の循環モデルから導く、持続可能な都市型ごちゃまぜ拠点への実装ー	荒川紗季	八木橋慶一	畑中寛
			フォルケホイスコーレを参考にした学校づくりのその後と普及可能性 ー茨城県における実践事例のインタビュー調査から	松榮秀士		
			文化を基盤とするソーシャル・イノベーションの持続的展開 ーいけばな療法の海外普及における協働と担い手形成ー	浜崎英子		
	H243	コモンズとSI	デジタル・プラットフォームにおける「サードプレイス」の変容と拡張 ー『ちいかわ』の情緒的連帯と『Comado』のウェルビーイング支援を事例としてー	小辻寿規	島岡未来子	青山公三
			寺院はなぜ人を集める「場」となりうるのか ー結束型から橋渡し型への組織的転換ー	日野皐汰朗		
			尊厳を守るということーー当事者の場から社会的包摂を問いなおす	北川美里		
	H244	地域モデルとSI	福祉×アップサイクルが拓く地域協働型日中活動の可能性 ー持続可能な地域共生社会を実装するソーシャル・イノベーションー	岡崎貴志	大和田順子	川中大輔
			高校魅力化から地域ウェルビーイングへの回路 ー岡山県高梁市及び県立高梁城南高校における共変容型地域づくりの過程ー	佐野淳也・横山弘毅・ 光石正和・北條大直・小原大輝		
			「ごみと言わない」参加型アートがつくる地域福祉の可能性について—上勝町ゼロ・ウェイストセンターにおける住民参加型の資源分別実践から考える社会的孤立予防・健康寿命に及ぼす影響の考察	木佐貫拓眞		
	H341	個の変容を考える	四国遍路における内的心理スペースの形成と心理的変容 ー20年後の再解釈を通したソーシャルイノベーションへの示唆ー	橋本俊之	今里滋	西村仁志
			研究基盤の乏しい実践領域に「知の生態系」をつくる フラワーエッセンス領域における研究教育の試行と過渡期の経過報告	若狭由美		
			受給者証返納に至った児童の療育過程と支援の特徴 ー3事例の質的分析ー	北田健二		
	H342	SIの再構築	ソーシャル・イノベーション概念の再検討	高畑明尚	関根千佳	新川達郎
			創造性を育てる大学教育 ー没入型・超学際的な教育実践の 6年間の経験から	スプリーティトゥス		
	H343	レジリエンスとSI	被災地における造船クラスターの経営統合と地域イノベーション ー宮城県気仙沼市「みらい造船」の事例にみる進化論的レジリエンスー	吉川玄徳	服部篤子	山口洋典
			世界との関わり方を組み替える教育 サステナビリティを可能にする認識論的転換の実践	飯塚宜子		
			人口減少下における Web3を活用した地域コミュニティ形成の可能性 ー新潟県長岡市山古志地域の Nishikigoi NFTを事例としてー	奥村凪紗		

B:ポスター発表一覧				
日時	会場	番号	タイトル	発表者
11/15（日） 11:35～12:15 （ポスター スピーチ） 13:30～14:30 （ポスター 発表）	H221教室 （ポスター スピーチ） H221教室外 Connected Learning Commons （ポスター 発表）	01	文系・理系の研究者間における共感形成の障壁は何か	村井拓人
		02	市区町村から始める、自律した生活の取り戻し方	藤田怜修・丸山幸伸
		03	赤い羽根福祉基金による助成がもたらした成果と社会的インパクト ー10年間の助成先団体の活動分析を通じてー	金井英里奈
		04	「大学間連携によるソーシャル・イノベーション人材育成における資格制度の役割」 —初年度の資格付与と2年目の運用を通して —	青山公三・新川達郎・ 宮本文
		05	均等法世代の経験の可視化・共有を通じた人生　100年時代のライフデザイン支援 ーパターン・ランゲージ「私たちのこれからをつくることば」の開発を通じて	長田尚子・宮川聖子・ 日高由美子・関根千佳
		06	物流業界における従業員ウェルビーイング指標の探索的研究 ～SWB（主観的ウェルビーイング）×OWB（客観的ウェルビーイング）による企業比較と改善の方向性～	外山泰冴・榎屋美帆・ 宮田佳歩・野島海正
		07	協働に先立つ「誘引」はいかに生み出されるか：群馬県前橋市の事例を通じた「誘引的媒介基盤」の精緻化	川戸康平
		08	上海のコミュニティガーデンにおけるウェルビーイングの形成とそのメカニズム	王暁娟・明石修
		09	コミュニティガーデンによる人・地域・自然の共進化の可能性 ～再生的サステナビリティの視点から～	明石修・田中笑子・ 松本凱斗・新保奈穂美・ たいら由以子
		12	固定型レトロコンテンツの動的持続可能性と福祉的サードプレイスの創出 ー初代『プロ野球ファミリースタジアム』のプレイヤーを対象とした　M-GTA分析を通じてー	琵琶博之・岩村俊平

C:公募分科会一覧表			
日時	発表教室	分科会タイトル	発表者
11/14(土) 11:00- 12:30	H241	「ソーシャル・イノベーション実践演習」研究発表 （大学連携型ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム）	畑中寛・石原和弥・田邉陽子・松田結美・世古悠太・金城杏菜・泉武登・田广良哉・山口有香・有瀧美栄・田籠結芽・岡部佳美・桝谷充康・山崎有希子・飯野令士
	H棟1階 テラスゲート	イノベーションとは ――アートの実践を通して創造のプロセスと評価を問い直す	スプリーティトゥス・大山龍・松谷容作
	H243	個人-社会-システムの変容に向かう観想教育の場の生成　～SEE Learning Japanの活動を事例とした、教育におけるソーシャル・イノベーション～	依田真由美・内田範子・佐々木一誠・津森絵理子
	H244	小中高生が「研究者」になる社会 ―小中高生のための大学院 Coda schoolが目指す ソーシャル・イノベーション	西口優毅・岡田啓吾・岩下昊樹・広田野乃花・館森菜七・根津創・日野皐汰朗・木佐貫拓眞・山本響
11/14(土) 17:10- 18:10	H241	研究者と非研究者による超学際研究はどのようにすればうまくいくのか？ ―共感形成に着目して ―	村井拓人
	H242	消費者と事業者の双方向コミュニケーションとは ーデジタル社会における高齢期の被害事例からー	雪美保子・片山登志子
	H243	内発的イノベーションのプラットフォーム構築に向けて	中島恵理・松原明美・青山恵美・井上良子・鈴木直子
	H244	ソーシャル・イノベーター人材開発プログラムの実装： ソーシャル・イノベーション・アカデミー再起動	内藤達也・馬渡一浩・服部篤子・林博行・山口康弘・千葉昌恵
11/15(日) 14:40- 16:10	H241	ソーシャル・イノベーション教育の「テキスト」を考える	川中大輔・西村仁志・鈴木暁子・新川達郎
	H242	つながり育み型ソーシャル・イノベーションの実践 ～社会的孤立の防止と持続可能な地域共生の未来	露木真也子・松原勇作・中村光・松原かほり・山本恵子
	H243	「地域活性化」の外側に立つとき ――研究知と実務知のあいだを埋めるための対話	早川公・根木優気・高橋健太郎・米谷龍幸
	H244	観光資源から防災資源へ ― 民泊を活用した災害時住まい支援は社会に定着できるか ―	小林和子・梶原桂子・井村浩之・大屋智浩・河西紀明・吉川香寿美・服部篤子